

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社吉野家ホールディングス（証券コード:9861）

### 【新規】

長期発行体格付  
格付の見通し

BBB+  
安定的

### ■格付事由

- (1) 牛丼の「吉野家」、うどんの「はなまる」などを手掛ける外食大手企業。高い食材調達力や豊富な店舗運営ノウハウ、全国規模の製造・物流ネットワークなどを強みとする。「吉野家」と「はなまる」は各分野の大手チェーンとして、高い知名度と競争力がある。近年は「ラーメン提供食数世界 NO.1」の目標を掲げ、ラーメン事業の拡大に注力している。25年11月末現在、FC店を含め世界で2,800店以上を展開する。このうち海外が1,000店超を占めており、中国、インドネシア、米国などで一定の事業基盤を構築している。グループの一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映している。
- (2) 格付は「BBB+」、見通しは安定的とした。各市場における「吉野家」と「はなまる」の一定の営業基盤、明確なコアメニューに基づく安定した集客力、格付に見合うキャッシュフロー創出力、健全な財務体質などを評価している。食材価格や人件費が上昇するなど外食業界の事業環境は厳しい。ただ、「吉野家」では店舗改装や特徴あるメニューの提供などに取り組み、客単価を引き上げながらも、おおむね安定した客数を確保できている。「はなまる」はコロナ禍後の不採算店の整理が一巡し、収益力が高まってきている。国内の出店・改装投資や国内外ラーメン事業などへのM&A投資を積極的に行う方針だが、それらは一定の財務規律の下で実施される見通しである。
- (3) 営業利益はコロナ禍の影響を受けた21/2期を底に回復し、24/2期以降、70億円以上を確保している。26/2期の会社計画の営業利益は82億円（前期比12.2%増）である。各業態の既存店売上高は総じて順調に推移している。FLコストは適切に管理されており、今後も一定程度の営業利益を確保できると想定されるが、米をはじめとする原材料価格の動向などに注意が必要である。26/2期から5年間の中期経営計画では、ラーメン事業を第3の事業ドメインへ育成することなどを目指している。24年に買収した麺やスープのメーカーを活用しながら国内外で提供食数を増やし、業績貢献度を高めていけるかが注目される。
- (4) 25/2期末の自己資本比率は53.9%、DERは0.4倍であるなど、財務構成は良好である。運転資金負担は比較的軽い。中期経営計画では5年間で1,300億円の投資を計画しており、その進捗次第で有利子負債が増えることも想定される。もっとも、リース債務を除くDERは0.9倍以内とする方針であり、財務基盤が大きく損なわれることは考えにくい。成長投資を利益に結びつけていくことや、出店の精度を高め退店に伴う損失を抑制することなどによって、利益の資本蓄積を着実に進めることが重要となる。

（担当）殿村 成信・佐藤 洋介

### ■格付対象

発行体：株式会社吉野家ホールディングス

### 【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年3月30日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武  
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「外食」(2023年6月1日)、「持株会社の格付方法」(2025年4月2日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社吉野家ホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル